

環境年次報告書 2003

Annual Environmental Report



NEC NECインフロンティア東北

もくじ

✚ごあいさつ	2
✚会社概要	3
✚環境方針	4
✚環境マネジメント組織	5
✚2002年度 環境目標と自己評価	6
✚2003年度 環境目標	7
✚コミュニケーション	8
✚社会貢献	9
✚リスクミニマム対策	11
✚緊急事態対策	12
✚環境会計	13
✚環境活動の経緯	14

ごあいさつ

当社は、1981年8月に旧日本通信工業(株)の国内の生産拠点として設立され翌年8月操業を開始致しました。主にキーテレホン等の通信機器、POS、Web端末等情報機器、プリント板等を生産しています。

21世紀は「環境の世紀」と叫ばれる中、地球温暖化、オゾンホール拡大等、地球を取り巻く環境は悪化の一途を辿っています。人類はこの現状を直視し、循環型社会に向けた環境保全活動を加速させて行かなければいけません。

当社は1999年3月に環境に関する国際規格であるISO14001の認証を取得し、本格的に環境活動を開始しました。2000年10月に生ゴミ処理機を導入し、コンポストとして再利用可能になりました。2001年4月には資源循環を目的としゼロエミッション達成を目標に全社一丸となってリサイクル化を推進した結果、同年10月に白石市で初めてゼロエミッションを達成することができました。

今後も、当社の基本理念である、「環境保全に配慮した企業経営を目指す」をベースに事業活動を進めながら地域社会の貢献を考えた、幅広い環境活動を進めるとともに、NECグループの一員として更に積極的に活動して行く事を決意するものです。

本報告書は、NECインフロンティア東北としての報告書であり、2002年度の当社の主な環境活動の取り組みを取りまとめたものです。

本報告書をお読み頂くことにより当社の環境への取り組みをご理解頂き、加えて当社の今後の環境活動の質と効果を高めて行くためにも、忌憚のないご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。



代表取締役社長
鈴木 正寛

会社概要



会社名 NECインフロンティア東北株式会社
所在地 宮城県白石市旭町6丁目1番地
設立 1981年8月10日(昭和56年)
操業 1982年8月2日(昭和57年)
代表 社長 鈴木 正寛
資本金 4億円(NECインフロンティア全額出資)
売上高 286億円(2002年度)
生産品目 通信機器・情報機器・プリント配線板
面積 敷地 66,000m²(20,000坪)
 建坪 24,000m²(7,200坪)
従業員 436名(男 241名、女 195名)
ISO14001認証取得(JQA) 1999年3月

環境方針

基本理念

我が社は、環境と調和した人間性豊かな社会の実現のために、経営理念及び環境マネジメント活動の環境方針に基づき、環境保全に配慮した企業経営を目指します。

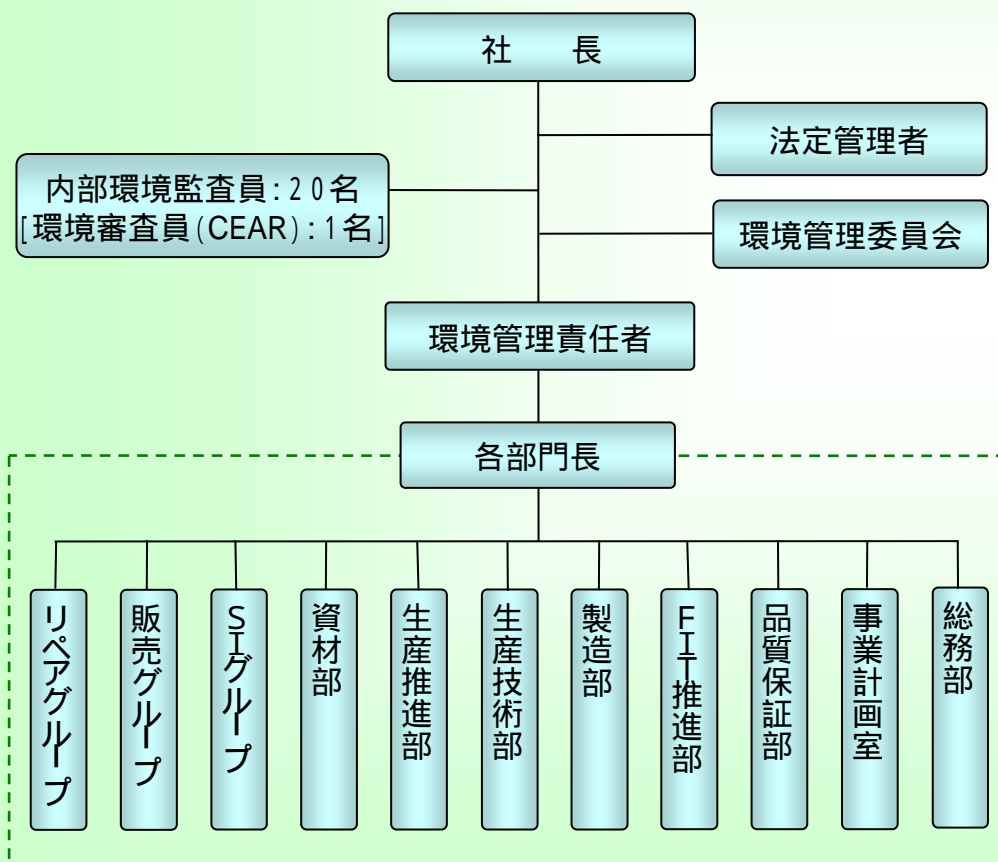
行動指針

- a) 製造から廃棄までの各領域において、環境に与える影響を配慮した環境管理活動を展開し、地球に優しい事業活動の実践と商品の提供に努める。
- b) 継続的な環境改善と汚染の予防に努める。
- c) 環境に関わる法律・規則の遵守はもとより、当社が同意するその他の要求事項を考慮した自主管理基準値を設定し、環境活動の向上に努める。
- d) 本方針遂行のため、環境目的および目標を設定し定期的に見直しを行う。
- e) 本方針を環境マネジメントシステムにより、実施し、維持するとともに、全従業員にこれを周知する。
- f) 本方針は、社外から要求された際には開示する。

環境マネジメント組織

環境マネジメントシステムの維持・改善を進めるため、継続的に内部環境監査を行っています。
また、環境マネジメントシステムの有効性を確認するため外部機関の審査を受けています。

環境管理組織図



環境管理委員会

環境管理委員会を毎月開催し、全社及び各所属の実行計画の進捗状況の報告、様々な問題の解決等継続的な環境保全活動の推進を行っています。

環境監査

内部環境監査：
年次予定表により各所属毎に内部環境監査を年一回実施しています。

外部環境監査：
日本品質保証機構(JQA)により環境マネジメントシステムの有効性について審査を受けています(年一回)。

2002年度 環境目標と自己評価

昨年度は中期計画に基づき5項目の目的を設定し、活動結果は目的目標を100%達成しています。

目的 (2004年度達成)	目標	実績評価
資源循環 焼却中間処理の削減 路盤材への利用 5%削減	排出物分別の徹底分別率100%の徹底	<input type="checkbox"/>
	木屑パレット屑のチップリサイクル実施 (路盤材への利用 2%削減)	<input type="checkbox"/>
	協力会社廃棄物管理状況把握及び指導	<input type="checkbox"/>
資源有効利用 事務用品グリーン購入 100% コピー用紙購入量 35%削減 化学物質(トルエン)削減10%	資材梱包仕様の見直し調査100件以上	<input type="checkbox"/>
	木製パレット屑の削減 (2002年度上期実績の30%以上)	<input type="checkbox"/>
	事務用品グリーン購入の推進 95%達成	<input type="checkbox"/>
	コピー・EDP用紙購入量削減 (2001年度実績の30%以上削減)	<input type="checkbox"/>
リスクミニマム 環境汚染物質の流出事故「0」件	クリーナーJ使用量の削減 5%	<input type="checkbox"/>
	製法、化学物質、設備導入、アセスメント100%実施	<input type="checkbox"/>
	著しい環境側面事故「0」件	<input type="checkbox"/>
	自主管理基準の遵守 (全管理項目自主基準値内)	<input type="checkbox"/>
地球温暖化防止 使用エネルギーの削減 (2002年度の3%削減)	P R T R法該当物質収支管理の実施 実施率100%	<input type="checkbox"/>
	照明エネルギーの削減蛍光灯安定器の交換100台	<input type="checkbox"/>
グリーン化 鉛全廃	使用エネルギー削減 (照明用エネルギー上期実績の2%削減)	<input type="checkbox"/>
地域貢献	国内新規開発製品のフロー・リフロー工程の鉛フリー化	<input type="checkbox"/>
	近隣クレーム「0」件	<input type="checkbox"/>
コミュニケーション	社会奉仕活動 工場周辺清掃奉仕	<input type="checkbox"/>
	環境報告書発行 上期中発行	<input type="checkbox"/>

達成度100%以上・・・ 達成度100%未満・・・

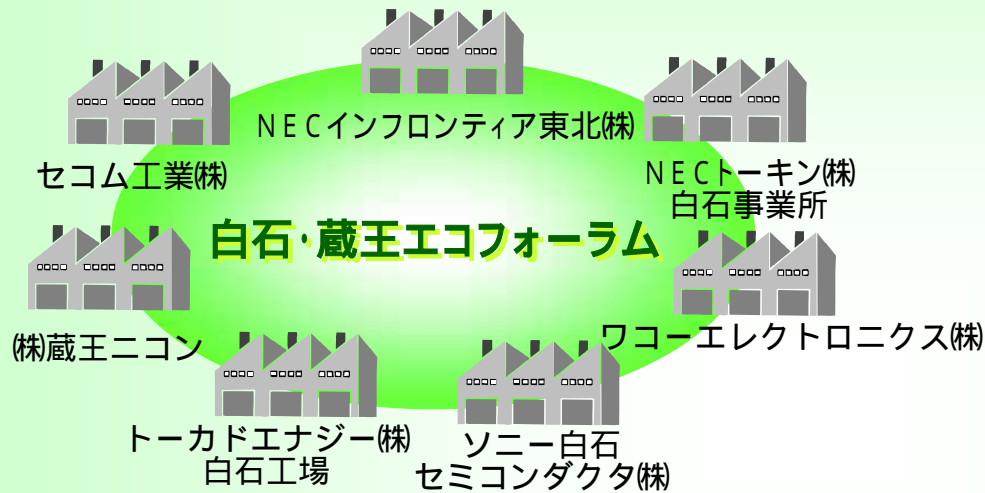
2003年度 環境目標

今年度は2001年度の実績の反省と新たに行った環境影響評価をふまえ7項目を設定しました。

目的 (2005年度達成)	目標
資源循環 焼却中間処理の削減	排出物分別の徹底分別率100%の徹底 協力会社廃棄物管理状況把握及び指導
資源有効利用 資材梱包仕様の見直し 総資材件数の90%通い箱 コピー用紙購入量 45%削減	資材梱包仕様の見直し通い箱化 30%通い箱 コピー・EDP用紙購入量削減(2001年度実績の39%以上削減)
リスクミニマム 環境汚染物質の流出事故「0」件	製法、化学物質、設備導入、アセスメント100%実施 著しい環境側面事故「0」件 自主管理基準の遵守(全管理項目自主基準値内) P R T R法該当物質収支管理の実施 実施率100%
地球温暖化防止 使用エネルギーの削減 (2002年度の3%削減)	照明エネルギーの削減蛍光灯安定器の交換100台 使用エネルギー削減(照明用エネルギー2002年度下期実績の1%削減)
グリーン化 鉛全廃	2003年度末生産量にしめる鉛フリー50%適用
地域貢献	近隣クレーム「0」件 社会奉仕活動 工場周辺清掃奉仕
コミュニケーション 環境情報発信	環境報告書発行 上期中発行

コミュニケーション

地域内のISO14001認証取得企業6社によるエコフォーラムを6回/年実施し環境関連の情報交換を行っています。



エコフォーラム開催風景



社会貢献(環境教育)

白石市内の小学生を工場見学に招き、環境教育の場を提供

2002年10月に宮城県白石市立福岡小学校の児童を対象に工場見学を実施しました。白石蔵王エコフォーラムに於いて、地元の小中学生に対して環境に関する教育の場を提供することが話し合わせ、その最初の試みとして実施されたものです。

5年生自動66名と引率の先生2名が来社され、当社が取り組んでいる活動の内容や、実際にリサイクルして出来たサンプルなどを見学しました。

生徒たちは、「僕らは環境探検隊」という手作りの手帳を持参し、熱心にメモを取っていました。



社会貢献(清掃活動)

会社周辺の除草を2回/年実施しています。

クリーン作戦と称して、会社構内及び会社を取り囲むように通っている道路周辺の除草を社員総出で行っています。

側溝のつまりの原因になる砂埃や、落ちているゴミなども取り除きます。

除草した雑草や砂埃などは、軽トラック5台分ほどになりました。



地域清掃奉仕活動を2回/年実施しています。

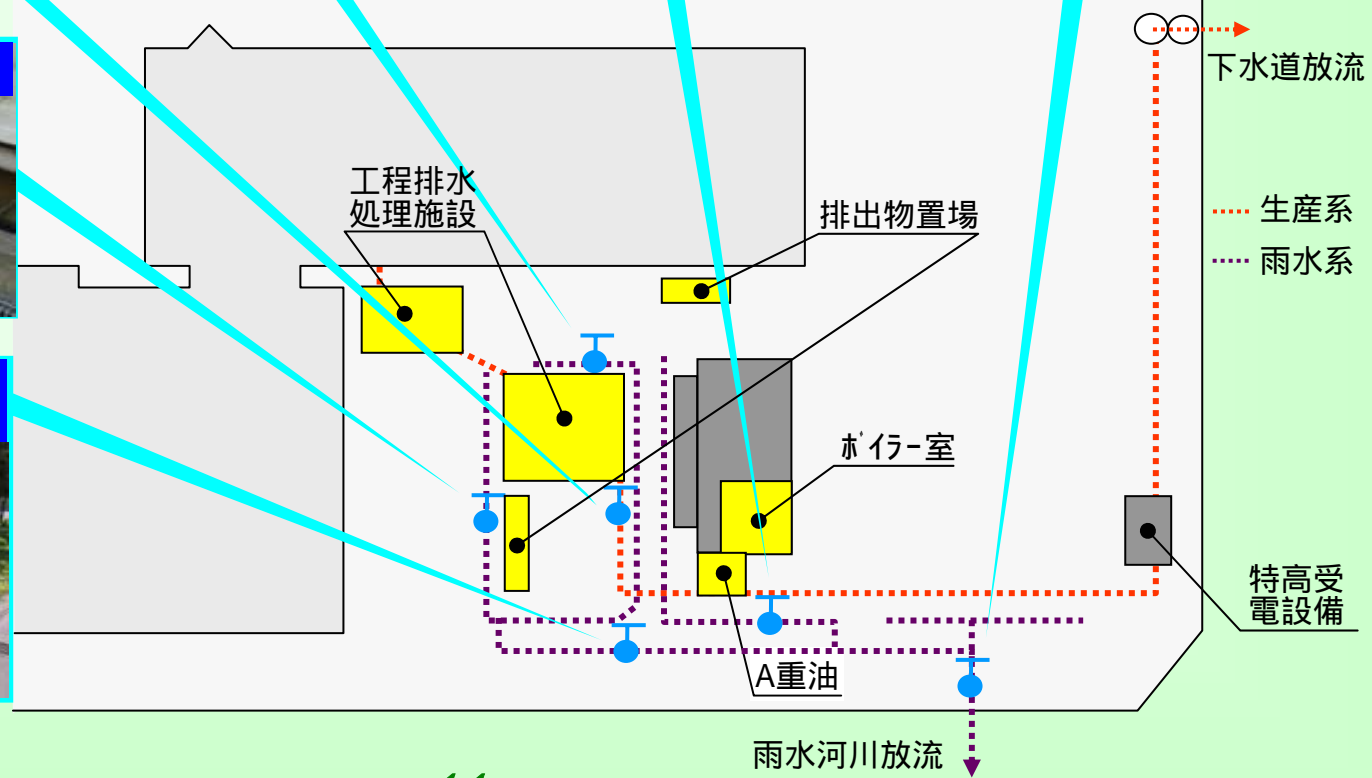
敷地を隣り合わせにしている同じNECグループ企業NECトーキンと合同で、地域の清掃奉仕活動を年に2回実施しています。

10月に実施したときは、当社から104名、NECトーキンから136名、更に町内会の方たちも加わり、総勢250名が参加し、白石蔵王駅までの道路沿いや側溝などに落ちているゴミを拾い集めました。



リスクミニマム対策

化学物質・重油等の設備破損及びタンクローリーでの納入時の漏洩事故による河川への流出防止、
 土壌への浸透防止対策を行っています。



緊急事態対策

環境に関する緊急事態として以下に示す4項目を特定しています。また緊急事態を想定して対応処置訓練を各1回/年行っています。

工程用屋外薬品
タンク・屋外配管
破損による薬品漏れ

ボイラー
排ガスの濃度異常

重油タンク
重油漏れ

最終放流槽
放流水の水質異常

緊急時訓練



環境会計

生産活動における環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、可能な限り定量化することにより、効果的な環境経営を進めていきます。

項目			環境投資額 (千円)	環境費用 (千円)	経済効果 (千円)	物量削減効果
大分類	中分類	細目				
事業エリア内コスト	地球温暖化防止 (温暖化防止、オゾン層破壊防止、その他)		830	960	166	148:t-CO2
	資源有効活用 (化学物質、紙、水、包装材削減)		0	15,816	10,245	114t:化学物質削減効果 0t:紙削減効果 3km3:水削減効果 1t:包装材削減効果
	資源循環活動	資源循環活動 (廃棄物の適切な削減、減量化)	0	17,778	1,625	63t:廃棄物削減効果
		廃棄物処理費用 (廃棄物の適切な処理)	0	0		
	リスク対応	公害の防止	0	30,425	0	-
	合計			830	64,980	12,036
管理活動コスト	環境マネジメント活動 (ISO維持、環境監査、緑化など)		0	5,260	0	-
	環境教育・啓蒙		0	1,133	0	-
	合計		0	6,393	0	-
社会活動コスト	社会貢献		0	11,480	0	-
	コミュニケーション		0	800	0	-
	合計		0	12,280	0	-
環境損傷対応コスト	環境損傷対応		0	0	0	-
合計			830	83,652	12,036	-

環境活動の経緯

- 1993年
 - 環境管理センター開設
 - 塩素系有機溶剤、フロン全廃
 - NEC関係会社環境監査受審
- 1998年
 - 環境マネジメントシステム運用開始
- 1999年
 - ISO14001認証取得
- 2000年
 - 生ゴミ処理機導入
 - ボイラー交換
(炉筒煙管ボイラー
→ 小型還流ボイラー)
 - 照明器具のインバーター化推進
- 2001年
 - 下水道接続
 - 重油地下タンクの地上化
 - 一般 / 産業廃棄物の
ゼロエミッション達成
- 2002年
 - 環境教育で工場公開



本報告書の内容や当社の環境保全活動についてご意見
ご質問等ございましたら下記までお問合せ下さい。

NEC NECインフロンティア東北

NECインフロンティア東北株式会社

〒989-0223 宮城県白石市旭町6丁目1番地

ホームページ <http://www.necinfrontia.co.jp/tohoku/>

発行 2003年9月

お問合せ先 総務部 環境安全課

Tel : 0224-25-1383

Fax : 0224-25-1215